

中学生の農業体験

— 子どもたちに「農業」という選択肢を —

茨城町では、次代を担う中学生を対象に、町の基幹産業である農業を体験してもらい、農業の重要性や勤労の尊さを学ぶ農業体験事業を行っています。

苗植えから収穫までを体験した生徒たちは、農業の大変さと面白さ、そして食べ物の大切さとそれを育てる農家の方々への感謝の気持ちを感じていたようでした。



農業体験から学んだこと

明光中学校一年 高橋 結衣

農業体験を通して感じたことは、作物を育てるのにこんなに体力や気力を使うものなのかということでした。育てる過程で、気温や降水量も考慮しなければいけないことに驚きました。サツマイモの苗を植えたとき、「こんなに小さい苗が本当に育つのかな？」と思いました。でも世話をしているうちにみるみる成長していく様子を見て、「植物ってすごいな」と思いました。そして、収穫したときには「自分で植えた作物が一生懸命世話をして収穫できるようになった」といううれしい気持ちでいっぱいになりました。私は、これが作物を育てる魅力なんだなと思いました。また、他に栽培したトマトやレタスなど、自分で育てた野菜は無農薬でとてもおいしかったです。

この農業体験を終えてから、お店で購入した野菜も、農家の人の努力の結晶だということを考えながら食べるようになりました。また機会があったら、自分で作物を栽培してみたいと思いました。

農業体験学習を終えて

青葉中学校一年 鈴木 かのん

今回、サツマイモの苗植えから収穫までの作業を体験し、農家の方々の苦労を実感することができました。

特に除草作業や畝作りは、青葉中学校の一年生全員で行ってもなかなか終わりませんでした。この作業を、農家の方々は数人で行っているのですから、本当に苦労しているのだなと感じました。おいしい野菜にするための情熱の表れだと思います。毎日普通に食卓にのぼる野菜を、ありがたみをもって食べることが大切だと思います。

苗を植えてから、サツマイモはどんどん大きくなり、ついに収穫する日が来ました。私は、サツマイモスティックとスイートポテトにして食べました。見た目もよく、実際に食べてみると甘くおいしかったです。苦労して育てたがいがありました。食への感謝の気持ちも味わうことができました。



祝 成人

大人への決意新たに 成人式



1月10日、平成28年茨城町成人式が中央公民館大ホールで挙行されました。

今年は、町内で331人の新成人が誕生。会場では色鮮やかな振袖や、真新しいスーツに身を包んだ新成人が、久しぶりに会う友人や恩師との再会に笑顔を見せていました。

小林町長は「新成人の皆さん、自信を持って私たち大人を踏み越えていってください。皆さんの夢や希望が新たな時代をつくる大きな原動力になります。」と激励。新成人を代表して謝辞にたった東ヶ崎大さんは、「成人の日を迎えられたのは、地域、先生、家族の支えがあってこそ。人の心を思いやることができる誠実な社会人へ成長し、様々な困難を乗り越えていきます。」と成人としての決意を新たにしました。



新成人の夢・目標

成人式を迎えた皆さんに二十歳になった感想や将来の夢、目標について伺いました。

自分の成人式で司会という大役を任せていただき、最後までやり遂げることができて嬉しく思っています。将来に対する不安もありますが、一人の大人として希望に向かって努力して行こうと思います。

遠西 光陽さん（上石崎）

将来の夢は美容師です！

郡司なつきさん（下飯沼）

幅広い分野で活躍できる、理学療法士を目指します。

原 一貴さん（宮ヶ崎）

今年は大人の色気を出せるように、未成年の時に達成できなかったダイエットを成功させます！

鈴木 千尋さん（木部）

一人前の警察官になります。

石川 潤紀さん（海老沢）

将来は高校の教師になることが夢です。

黒野 綾花さん（野曽）

みんなとてもかっこよくなっていて、楽しかった。

山口 大貴さん（小幡）